

発達障害児を対象とする SSTを目的とした教材 「SSTカルタ」



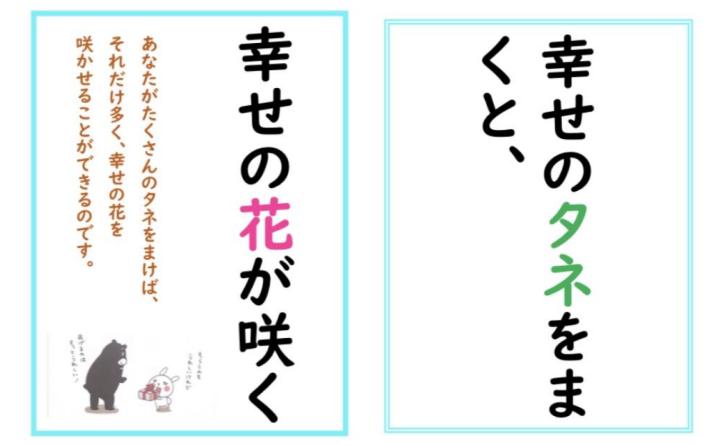
意地をはらず、

発表番号202120



発表内容

- 1 教材開発の経緯
- 2 対象児童のイメージ
- 3 指導目標
- 4 学習指導要領における位置づけ
- 5 評価基準
- 6 教材の紹介と使い方
- 7 工夫と改善点



I 教材開発の経緯

通常学級に在籍するADHDの児童(ASD併存)

- ⇒クラスで不適応をおこす
- ⇒SSTの必要性
- ⇒通常学級のため、**自立活動の時間はない**



周りの人を思い
やり、親切にす
れば



2 対象児童のイメージ

- ・通常学級の小学5年生男児
- ・ADHDの診断有り(ASDも併せもつ)
- ・失敗経験に固執し、否定的な発言をして雰囲気を悪くする
- ・友だちの悪口を言うので周囲の児童から苦情
- ・こだわりが強くトラブルを起こすことが多い



3 指導目標

- ・本教材を使用することで、コミュニケーションに問題のある発達障害の児童に、**適切な言葉の使用**と人との**良好な関係を築く行動（考え方）**を身につけさせる。

具体的には

- ①失敗を受け入れ、**否定的な発言**をしない。
- ②悪口を言わない。
- ③**自分の主張にこだわらず**、相手の意見を受け入れられる。



相手を一方的に責める気持ちを
リセットしてみよう

「相手が間違い。
自分が正しい」



問題行動の原因の分析

問題となる行動

- ①失敗後の不適切な発言
- ②悪口を言うこと
- ③自分の主張のこだわり

推定した原因となる背景

- ア 失敗への過度の不安…… (二次障害と関連)
- イ 相手の気持ちの理解不足…① (指導要領関連有)
- ウ 適切な表現を理解していない…② (指導要領関連有)
- エ 因果応報の理解の不足…③ (指導要領関連有)
(自分のしたことがどう影響するか理解していない)
- オ 人と自分は違っていて良いことの理解不足



4 学習指導要領における位置づけ

【ADHDの子の問題と背景】

・ADHDのある幼児児童生徒の場合、
思ったことをそのまま口にして相手を不快
にさせるような表現を繰り返したりするこ
とがある。このような要因としては、行動を
調整したり、振り返ったりすることが難しい
ことや、相手の気持ちを想像した適切な表
現が身に付いていないことが考えられる。

学習指導要領解説自立活動編p95

6コミュニケーション（2）言語の受容と表出に関するこ

【相手の気持ちの理解不足】…①

【適切な表現の獲得不足】



4 学習指導要領における位置づけ

・このような場合には、教師との個別的な場面や安心できる小集団の活動の中で、相手の話を受けてやりとりする経験を重ねられるようにしたりして、
ゲームなどを通して適切な言葉を繰り返し使用できるようにしたりして、楽しみながら身につけられるようにしていくことが大切である。

学習指導要領解説自立活動編p95

6コミュニケーション（2）言語の受容と表出に関するこ

【適切な言葉の使用を身につける必要性】…②



4 学習指導要領における位置づけ

ADHDのある幼児児童生徒が、**適切に自己の気持ちや考えを伝えるには**、この項目の内容と「2心理的な安定」、「**3人間関係の形成**」、「4環境の把握」等の区分に示されている項目の中から必要な項目を選定し、それらを**相互に関連づけて**具体的な指導内容を設定することが大切である。

学習指導要領解説自立活動編p95

6コミュニケーション(2)言語の受容と表出に関すること

自立活動

【3人間関係の形成との関連】



4 学習指導要領における位置づけ

・ADHDのある幼児児童生徒の場合、衝動の抑制が難しかったり、自己の状態の分析や理解が難しかったりするため、同じ失敗を繰り返したり、目的に沿って行動を調整することが苦手だったりすることがある。そこで、自分の行動とできごとの因果関係を図示して理解させたり、実現可能な目当ての立て方や点検表を活用した振り返りの仕方を学んだりして、自らの行動を選択し調整する力を育てていくことが大切である。

学習指導要領解説自立活動編p70

3人間関係の形成(3)自己の理解と行動の調整に関すること

【因果関係の理解の必要性】…③



5 評価基準

【具体的目標①失敗の受け入れ、**否定的な発言をしない**について】

- ◎失敗しても、肯定的な発言ができる。
- 失敗したとき、否定的な発言をしない。
- △失敗したら、否定的な発言をする。

評価方法：教師による目視と
クラスメートからの聞き取り



「運が悪い」と
あきらめないで



5 評価基準

【具体的目標②悪口を言わないについて】

- ◎悪口を言うことがまったくない。
- 悪口を言うことがあるが、以前より減った。
- △悪口を言うことがある。

評価方法 : クラスで月1回
アンケートを実施する。



5 評価基準

クラスメートによるアンケートシート

① 悪口について

- ◎悪口を言うことがまったくない。 ○悪口を言うことがあるが以前より減った。
△悪口を言うことがある。

② 暴力について

- ◎打ったり蹴ったりすることがない。 ○打ったり蹴ったりすることがあるが以前より減った。
△打ったり蹴ったりすることがある。

	悪口について	暴力について
Aくん		
Bくん		
Cさん		
Dくん		

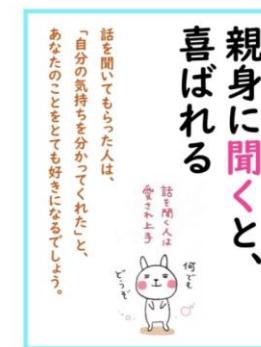


5 評価基準

【具体的目標③自分の主張にこだわらず、相手の意見を受け入れられるについて】

- ◎相手の意見を聞いて、自分の意見を変えることができる。
- 相手の意見を聞いて、受け入れられている。
- △自分の意見にこだわり、主張をしつづける。

評価方法：教師による目視と
クラスメートからの聞き取り



相手の話を



6 教材の紹介と使い方（準備）

「日めくりカレンダー 幸せのタネをまくと、幸せの花が咲く」を活用



6 教材の紹介と使い方（準備）

推定した原因となる背景

- ア 失敗への過度の不安
- イ 相手の気持ちの理解不足…①
- ウ 適切な表現を理解していない…②
- エ 因果応報の理解の不足…③
(自分のしたことがどう影響するか理解していない)
- オ 人と自分は違っていて良いことの理解不足

⇒関連するものを精選して抜粋

- ・失敗はしてよいことの理解
- ・良い言葉を使う良さが分かる
(相手が喜ぶことが分かる)
- ・良いコミュニケーションの例が伝わる
- ・因果応報の教えの理解
- ・相手の意見(存在)も大切と分かる
- ・人はそれぞれ違っていいと分かる



6 教材の紹介と使い方(準備)

材料

- ・画用紙5枚入り(100円)

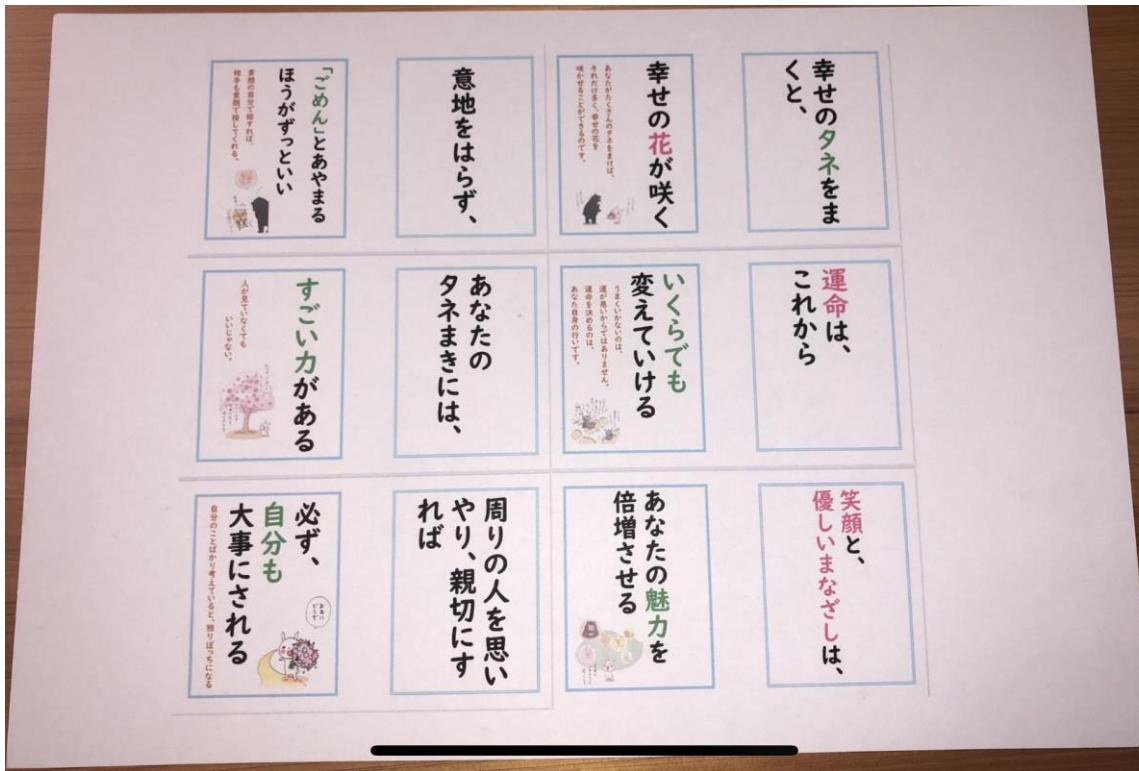
必要な物

- ・パソコン
- ・プリンター
- ・カッター
- ・定規



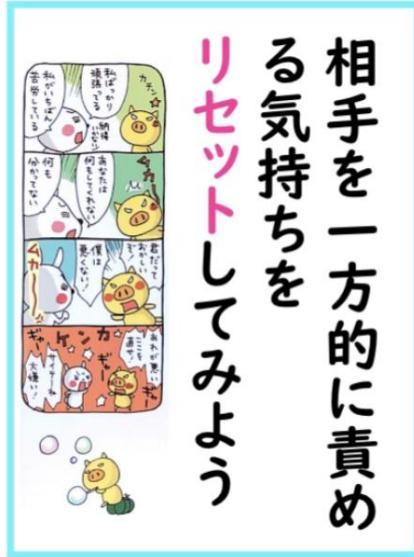
6 教材の紹介と使い方(準備)

パワーポイントでデータを作成し、画用紙に印刷



6 教材の紹介と使い方

下の句



上の句

「相手が間違い。
自分が正しい。」

- ① カルタ：教師が上の句と下の句を読み、児童が下の句を取り合う。



6 教材の紹介と使い方



- ② 競技は2人で行う。下の句の20枚のカードを並べて取り合う（とった数の多い方が勝ち）



この教材は、個人用としてご購入いただけます。

6 教材の紹介と使い方

- ③ すきま時間を使って学級でカルタをする時間を設ける。

- ④ 昼休みのカルタ大会を企画するなど意欲喚起をする。



6 教材の紹介と使い方(応用)

① デジタル教材としての使用

下の句



上の句

幸せのタネをま
くと、



6 教材の紹介と使い方（応用）

② 低中学年用バージョンの使用 〈具体的な行動を重視した内容〉

下の句



上の句



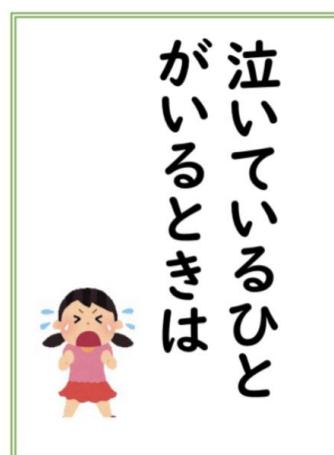
6 教材の紹介と使い方(応用)

③ 上の句に対して、オリジナルの下の句を話し合う

下の句



上の句



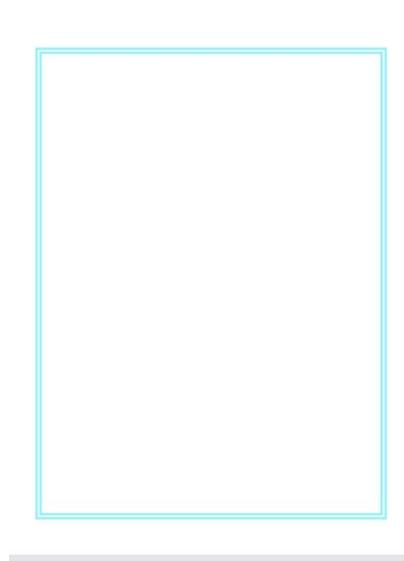
6 教材の紹介と使い方（応用）

④ オリジナルの上の句、下の句をつくる

下の句



上の句



7 工夫と改善点

工夫した点

- ① 自立活動のない通常学級のすき間時間に活用できるようにした点
- ② 通常学級の友だちと共に楽しんで学べるようにした点

改善点

- ① 上の句と下の句のペアが分かるように番号をつける
- ② 上の句のカードに下の句も書いておく



参考資料

- ① 特別支援教育をサポートする暗黙のルールが身につく
ソーシャルスキルトレーニング（SST）カード教材集
- ② 日めくりカレンダー 幸せのタネをまくと、幸せの花が咲く
- ③ [イラスト無料素材/こどもや赤ちゃんのイラストわんぱく\(wanpug.com\)](http://wanpug.com)
- ④ [かわいいフリー素材集 いらすとや \(irasutoya.com\)](http://irasutoya.com)

